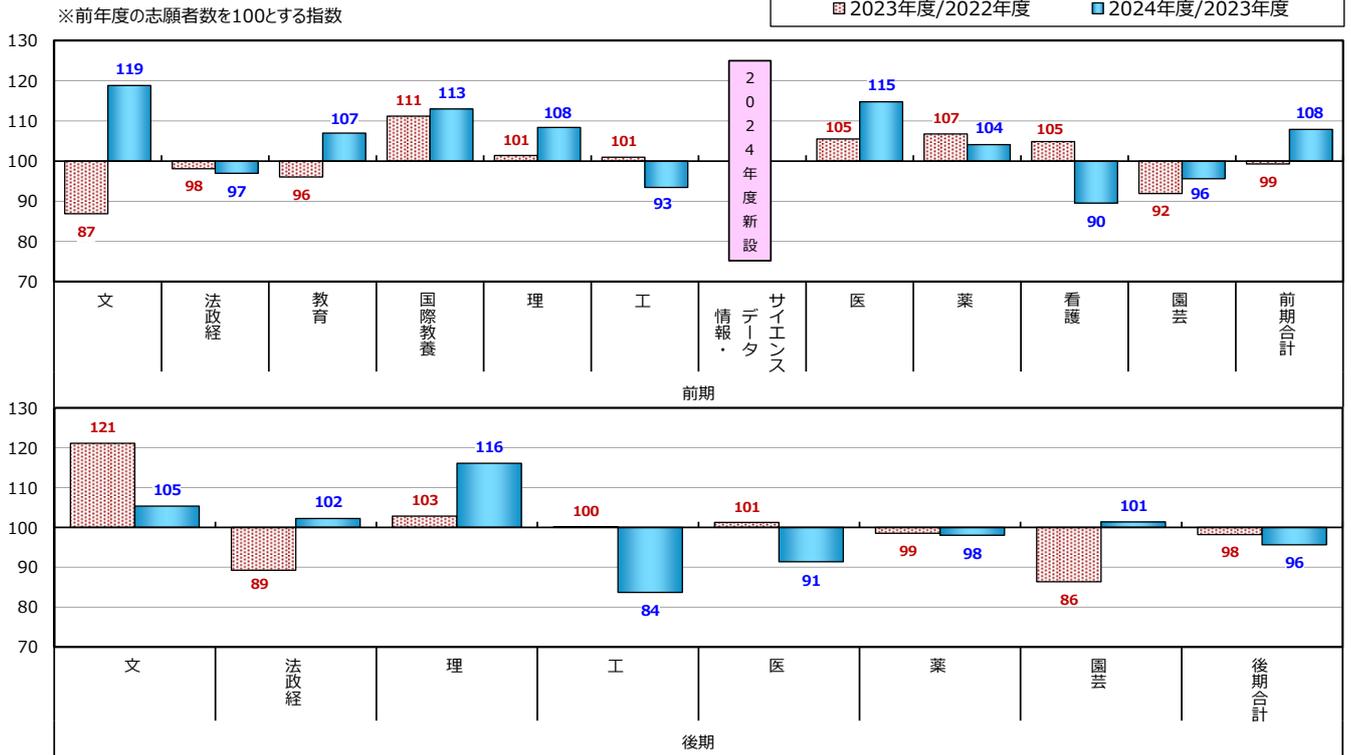


千葉大：前期は増加、後期はやや減少だが募集人員減少で志願倍率アップ 前期：+485人 後期：-189人



主な入試変更点

学部・学科改組：情報・データサイエンス…工(総合工/情報工学)49人→情報・データサイエンス<前>90人
 募集人員：法政経(法政経)…<前>295人→290人、<後>70人→65人
 教育(学校教員養成/特別支援教育)…<前>23人→17人
 (学校教員養成/英語教育)…<前>30人→25人
 園芸(緑地環境)…<前>40人→46人、<後>17人→11人
 (食料資源経済)…<前>17人→23人、<後>8人→2人
 共通テスト：園芸(食料資源経済)<後>…歴公と理の選択科目数を歴公、理2のみに変更
 (国+歴公2+数2+理基2+外)or(国+歴公+数2+理2+外)
 →国+歴公+数2+理2+外
 個別試験：教育(学校教員養成/中学校-国語科教育)<前>…配点変更
 国<300>+数<200>+外<200>+専門適性検査<300>=総点<1,000>
 →国<300>+数<150>+外<250>+専門適性検査<300>=総点<1,000>
 (学校教員養成/中学校-数学科教育)<前>…配点変更
 数<500>+理<100>+外<200>+専門適性検査<200>=総点<1,000>
 →数<500>+理<100>+外<150>+専門適性検査<250>=総点<1,000>
 (学校教員養成/小中専門教科-家庭科教育)<前>…配点変更
 国<300>+数<300>+外<200>+専門適性検査<200>=総点<1,000>
 →国<300>+数<200>+外<250>+専門適性検査<250>=総点<1,000>
 園芸(緑地環境、食糧資源経済)<後>…論→理2 ※理：(物 or 化 or 生)→2

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、296人(103)のやや増加で3年ぶりに増加。日程別では、前期は2年連続減少の反動で485人(108)の増加、募集人員も37人(2%)増加したが、志願倍率は3.5倍→3.7倍にアップ。後期は189人(96)のやや減少で3年連続減少だが、募集人員が37人(11%)減少したため、志願倍率は13.3倍→14.3倍にアップ。

<前期日程>

- 文(119)は、3年連続減少の反動で大幅増加。コース別では、前年度とは逆に4コース全てが増加。特に、(人文/国際言語文化学)(141)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(人文/歴史学)(122)は4年連続減少の反動で大幅増加、(人文/日本・ユーラシア文化)(119)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、2019年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 法政経(97)は、募集人員が5人(2%)減少したこともあり、やや減少で4年連続減少。志願者数は900人を下回った。
- 教育(107)は、やや増加。課程・コース・分野別では、14募集単位中9募集単位が増加。(学校教員養成/小中専門教科-図画工作・美術科教育)(183)は前年度大幅減少の反動で激増、(学校教員養成/小中専門教科-保健体育科教育)(155)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(学校教員養成/中学校-社会科教育)(140)は2年連続大幅増加、(学校教員養成/中学校-国語科教育)(133)、(学校教員養成/小中専門教科-音楽科教育)(129)はいずれも大幅増加で2年連続増加、(学校教員養成/養護教諭)(126)は2年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(学校教員養成/特別支援教育)(71)、(学校教員養成/中学校-数学科教育)(72)、(学校教員養成/小中専門教科-家庭科教育)(77)、(学校教員養成/英語教育)(85)はいずれも大幅減少。

- 国際教養(113)**は、コロナ禍の影響の緩和により、2年連続増加。志願倍率は4年ぶりに4.0倍を上回った。
- 理(108)**は、増加。学科別では、(物理)(134)は2年連続減少の反動で大幅増加、志願倍率も4.7倍→6.3倍にアップ。(地球科学)(117)は3年連続減少の反動で大幅増加、(生物)(113)は前年度大幅増加に引き続き増加。一方で、(化)(92)は減少。(数学・情報数理)(96)はやや減少で2年連続減少。
- 工(93)**は、改組により旧(総合工/情報工学)が情報・データサイエンスに移行したことで募集人員が49人(11%)減少したこともあり減少だが、旧(総合工/情報工学)を除くと(110)の増加で志願倍率も3.6倍→3.9倍にアップ。コース別では8コース中6コースが増加。(総合工/共生応用化学)(134)、(総合工/建築学)(133)、(総合工/都市工学)(127)、(総合工/機械工学)(125)はいずれも大幅増加。一方で、(総合工/電気電子工学)(73)は大幅減少。
- 新設の**情報・データサイエンス**は、旧工(総合工/情報工学)から改組された。募集人員は90人、志願者数は374人だった。旧工(総合工/情報工学)との比較では、116人(145)の大幅増加だが、募集人員が41人(84%)増加のため、逆に志願倍率は5.3倍→4.2倍にダウン。
- 医(115)**は、大幅増加で2年連続増加。募集単位別では、<一般枠>(106)は前年度増加に引き続きやや増加。<地域枠>(162)は前年度大幅減少の反動で激増。なお、2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は<一般>が79.1%、<地域枠>が69.8%だった。
- 薬(104)**は、やや増加で4年連続増加。志願者数は450人を上回り、募集人員が70人となった2019年度以降で最多。
- 看護(90)**は、3年ぶりに減少。
- 園芸(96)**は、前年度減少に引き続きやや減少。募集人員が12人(10%)増加したが、志願倍率は4.1倍→3.6倍にダウン。学科別では、4学科中2学科ずつの増減。特に、(応用生命化)(129)は3年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(園芸)(73)は大幅減少で2年連続減少。また、募集人員が6人(35%)増加した(食料資源経済)(107)は志願倍率が6.5倍→5.1倍にダウン、募集人員が6人(15%)増加した(緑地環境)(97)も志願倍率が4.4倍→3.7倍にダウンで、いずれも競争が緩和。

<後期日程>

- 文(105)**は、前年度大幅増加に引き続きやや増加。募集を行う2コースは、(人文/行動科学)(108)が増加。一方で、(人文/歴史学)(99)は微減。
- 法政経(102)**は、2年連続減少の反動はなく、前年度並。
- 理(116)**は、大幅増加で2年連続増加。学科別では、5学科中4学科が増加。特に、(地球科学)(162)は前年度大幅減少の反動で激増、志願倍率も5.8倍→9.4倍にアップ。(化)(137)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(数学・情報数理)(128)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(生物)(91)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 工(84)**は、改組により旧(総合工/情報工学)が情報・データサイエンスに移行したことで募集人員が20人(16%)減少したこともあり大幅減少。旧(総合工/情報工学)を除くと(103)の増加で志願倍率も13.6倍→14.0倍にアップ。コース別では、6コース中2コースが増加。特に、(総合工/機械工学)(127)は2年連続減少の反動で大幅増加、(総合工/建築学)(121)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(総合工/電気電子工学)(85)は3年連続大幅増加の反動で大幅減少。
- 医(91)**は、減少。志願者数は4年ぶりに約370人となった。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は69.8%だった。
- 薬(98)**は、4年制の(薬科学)のみの募集だが、2年連続前年度並。
- 園芸(101)**は、前年度並だが、募集人員が12人(29%)減少で、志願倍率は10.8倍→15.5倍にアップ。学科別では、4学科中2学科ずつの増減。特に、(緑地環境)(137)は大幅増加、さらに募集人員が6人(35%)減少で志願倍率も8.0倍→16.9倍にアップ。一方で、(食料資源経済)(38)は激減だが、募集人員が6人(75%)減少で、志願倍率は8.5倍→13.0倍にアップ。